





授 業 の 明 細			
	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	実験の説明と準備、演習問題	生化学実験の概要、進め方、心構え、注意事項などを説明する。問題演習では、実験に関連する計算問題を中心に行う。	
2	ピペット操作	複数の色素溶液について数段階の希釈を行ったのち、分光光度計による測定値からそれぞれの濃度を算出し、5%の誤差範囲で測定できる。	ピペット操作の実験の予習を行う。
3	緩衝液の調製	緩衝液の概念を理解する。リン酸緩衝液等の調製を行いその働きを検証することができる。	緩衝液の調製の実験の予習を行う。
4	ペーパークロマトグラフィーによるアミノ酸の分析	数種のアミノ酸混合液についてペーパークロマトグラフィーを行い、含まれるアミノ酸の種類をRf値とニンヒドリンによる発色から決定することができる。	ペーパークロマトグラフィーによるアミノ酸の分析の実験の予習を行う。
5	タンパク質の定量	ローリー法によりタンパク質の定量を行う。各自に与えられたタンパク溶液について、検量線を利用しその濃度を決定することができる。(検量線作成と未知試料)	タンパク質の定量の実験の予習を行う。
6	アミラーゼの定量	ヨウ素-デンプン反応を利用しアミラーゼ活性を測定する。各自のアミラーゼ溶液を濃度既知のデンプン溶液に加え反応後、残存デンプン量よりその活性を算出することができる。(検量線作成と)	アミラーゼの定量の実験の予習を行う。
7	総合演習	各テーマに関する筆記試験を行う。	筆記試験に備えて全実験テーマの復習を行う。
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
総 授 業 時 間 数			60 時間